

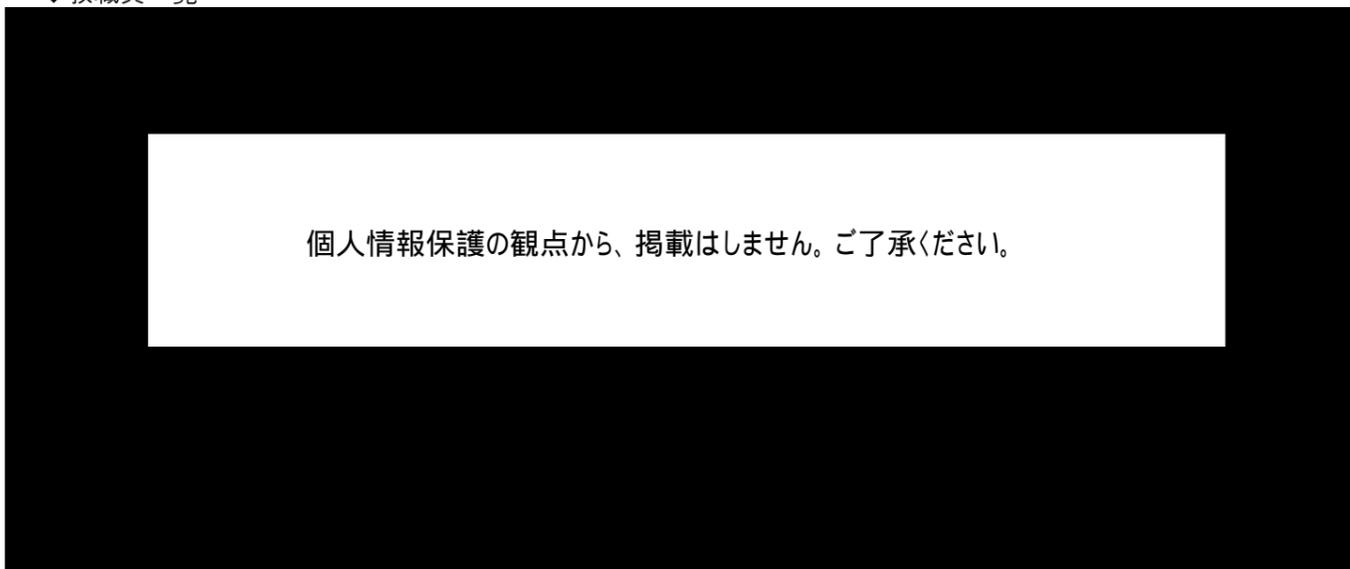
◆学校沿革史概要

| | |
|-------------|--|
| 明治 25. 5. 1 | 兆民尋常小学校として現在地に開校 |
| 大正元 10 | 兆民・向岡・処仁の3校合併し多摩村立尋常高等小学校を設立(貝取1727番地)第二分教場となる |
| 昭和 22. 4 | 多摩村立第二分校と改名(学級数4) |
| 昭和 38. 4 | 多摩村立多摩第二小学校となる(学級数7・児童数271名) 初代校長 堀内安雄着任 5月校章制定 9月校歌制定 |
| 昭和 39. 4 | 町制施行に伴い、多摩町立多摩第二小学校と改名 |
| 昭和 42. 4 | 第2代校長 奥田 勉着任(学級数15・児童数588名) |
| 昭和 46. 4 | 第3代校長 菊池秀光着任(学級数25・児童数999名) |
| 昭和 46. 11 | 市制施行に伴い多摩市立多摩第二小学校と改名 |
| 昭和 47. 11 | 開校10周年記念式典 |
| 昭和 50. 4 | 第4代校長 大坪巳六着任(学級数24・児童数923名) |
| 昭和 53. 4 | 第5代校長 市村聡明着任(学級数19・児童数710名) |
| 昭和 54. 4 | 第6代校長 當間一郎着任(学級数21・児童数760名) |
| 昭和 57. 5 | 開校20周年記念式典 |
| 昭和 61. 4 | 第7代校長 松田昭雄着任(学級数18・児童数628名) |
| 昭和 63. 4 | 第8代校長 吉田信夫着任(学級数18・児童数618名) |
| 平成 02. 4 | 第9代校長 向山隆昭着任(学級数18・児童数564名) |
| 平成 04. 11 | 開校30周年記念式典 |
| 平成 06. 4 | 第10代校長 水沢靖直着任(学級数17・児童数521名) |
| 平成 09. 4 | 第11代校長 土方邦男着任(学級数16・児童数490名) |
| 平成 14. 4 | 第12代校長 北嶋一誠着任(学級数18・児童数577名) |
| 平成 17. 1 | 多摩市研究奨励校研究発表会 |
| 平成 17. 4 | 第13代校長 篠田正春着任(学級数19・児童数660名) |
| 平成 20. 11 | 東京都教育委員会権尊重教育推進校研究発表会 |
| 平成 21. 4 | 竜ヶ峰小学校と多摩第二小学校統合(開校記念日5月2日に) 第14代校長 後藤信行着任(学級数21・児童数764名) |
| 平成 22. 2 | 多摩市研究奨励校研究発表会 |
| 平成 23. 1 | ユネスコスクール加盟 |
| 平成 24. 4 | 第15代校長 佐島 規着任(学級数24・児童数803名) |
| 平成 25. 11 | 開校50周年記念式典 |
| 平成 26. 9 | 校舎建替工事(平成28.3新校舎完成 平成29.8新校庭完成) |
| 平成 29. 2 | 東京都小学校理科教育研究会研究協力校 多摩市立学校研究奨励校研究発表会 |
| 平成 29. 4 | 自閉症・情緒障がい学級「にし組」開設 |
| 平成 29. 10 | 第50回記念 全国小学校理科研究協議会研究大会 東京大会 多摩市立学校研究奨励校研究発表会 |
| 令和 2. 4 | 第16代校長 吉田正行着任(学級数21・児童数533名) |
| 令和 3. 4 | GIGAスクール構想 iPad1人1台導入 |
| 令和 5. 4 | 第17代校長 井戸しのぶ着任(学級数21・児童数495名) |

◆児童数 (令和6年5月1日現在)

| 学年 | 男 | 女 | 合計 |
|----------|-----|-----|-----|
| 1年—2学級 | 32 | 33 | 65 |
| 1年にじ | 6 | 3 | 9 |
| 2年—2学級 | 29 | 24 | 53 |
| 2年にじ | 7 | 3 | 10 |
| 3年—2学級 | 36 | 29 | 65 |
| 3年にじ | 6 | 2 | 8 |
| 4年—3学級 | 31 | 40 | 71 |
| 4年にじ | 9 | 4 | 13 |
| 5年—3学級 | 53 | 42 | 95 |
| 5年にじ | 11 | 0 | 11 |
| 6年—2学級 | 33 | 42 | 75 |
| 6年にじ | 10 | 0 | 10 |
| 通常 14学級 | 214 | 210 | 424 |
| 特別支援 8学級 | 49 | 12 | 61 |
| 合計 22学級 | 263 | 222 | 485 |

◆教職員一覧



◆年間の主な行事 (令和6年4月1日予定)

| | | | |
|----|---|-----|---|
| 4月 | 前期始業式 入学式 健康診断始 保護者会 1年生ウェルカムウィーク 交通安全教室2年 全国学力・学習状況調査6年 社会科見学4年 | 10月 | 後期始業式 ハケ岳移動教室6年 交通安全教室1年 運動会 野外給食1・2年 |
| 5月 | 開校記念日 消防写生会2年 スポーツテスト 引き渡し訓練 東京都学力向上を図るための調査4～6年 社会科見学6年 | 11月 | 水泳授業 就学時健康診断 校外学習1・2年 音楽発表会5年 社会科見学5年 縄跳び月間 |
| 6月 | イングリッシュウィーク 学校公開 セーフティ教室 こころの劇場6年 ハケ岳集団宿泊5年 社会科見学3年 小中連携 保護者会 | 12月 | 水泳授業 縄跳び月間 保護者会 エコプロ6年 大掃除 休み前集会 冬 季休業日 |
| 7月 | ガサガサ体験3年 大掃除 休み前集会 個人面談 夏休み学習会 夏季休業日 | 1月 | 冬季休業日 休み明け集会 発育測定 書写展 持久走月間 社会科見学4年 新入生保護者説明会 連合図画工作・美術展 |
| 8月 | 夏季休業日 休み明け集会 | 2月 | 展覧会 社会科見学3年 読書週間 小中連携 保護者会 |
| 9月 | 発育測定 学校公開 道德授業地区公開講座 ユニセフ募金活動 和田中体験6年 読書週間 前期終業式 秋休み | 3月 | 6年生を送る会 卒業を祝う会6年 修了式 卒業式 春季休業日 |



令和6年度

学校要覧



多摩市立多摩第二小学校

校長 井戸しのぶ

所在地 〒206-0001 東京都多摩市和田75番地
 電話 042-375-7051 FAX 042-337-7622
 URL <https://schit.net/tama/estamadaini/>

交通 京王線 聖蹟桜ヶ丘駅
 バス乗り場1番より 高幡不動駅行/南大沢駅行/京王堀之内駅行
 2番より 帝京大学構内行/相模原駅行/高幡不動駅(三沢台)行(ミニバス)
 バス約10分 いずれも「多摩第二小学校」下車(徒歩1分)

二小ニコニコ ひまわりプロジェクト

東日本大震災の後に咲いた「ど根性ひまわり」・阪神大震災の後に咲いた「はるかのひまわり」を育てることを通して、4つの願いの実現を図ります。

- ①命を大切にす。 (生命尊重)
- ②自然を守り、育てる。 (環境教育)
- ③差別や偏見・いじめをなくす。 (人権教育)
- ④震災を忘れない。 (防災教育)

心をこめて大切に育て、ひまわりが大きな花を咲かせることにより、コミュニケーションの輪が広がり、子ども達の心や地域に希望の花が咲くことを願っています。

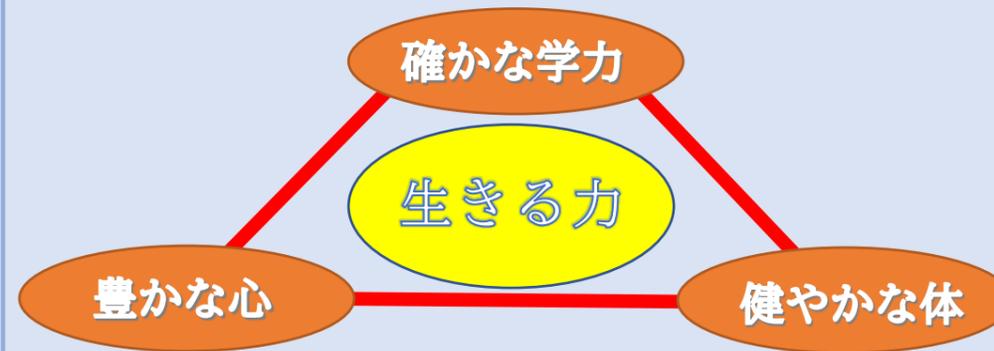


ICT 機器の効果的な活用

1人1台のタブレット端末、各教室にプロジェクターが整備され、学習内容に合わせた ICT 機器の効果的な活用を積極的に進めています。これまでの教科書やノート、プリント等による学習、図書等の活用と合わせて「分かる授業」を推進していきます。また、オンライン学習や長期欠席児童の学習保障や関係作りためのツール



多摩第二小学校の教育



学校教育目標

○考える子 ◎思いやりのある子 ○元気な子

目指す児童像

- ① 確かな学力を身に付け、自ら学ぼうとする意欲が高い児童
- ② 互いの人権及び個人の選択や志向を尊重し、豊かな感性をもった思いやりのある児童
- ③ 社会性や自主性があり、自立心が強く、自己調整力のある児童
- ④ 健康な心と体があることに感謝し、自身の健康の維持増進に向けて努力する児童

今年度の具体的な取組

- ◆学習指導の充実
 - ①指導法や評価の工夫改善、ICT 機器やプログラミング教材等の積極的な活用
 - ②「児童主体」の授業、「教師の指導力」の向上
 - ③実体験の重視、問題解決力を高める指導 [ユネスコスクールの活動]
- ◆生活指導の充実
 - ①基本的な生活習慣の確立、学習規律や生活上のルールやマナーの定着
 - ②組織的な生活指導体制の確立、常に危機管理意識をもつ、問題行動の早期発見・解決
 - ③特別支援教育コーディネーターを中心とした指導組織体制の充実、関係諸機関との連携
 - ④安全指導の計画的な実施、防災や安全に対する意識や実践力の向上
- ◆豊かな心を育む教育の推進
 - ①豊かな体験活動の工夫、社会の一員としての自覚や人間としての生き方について考える、多様性の理解や自他の生命や人権を尊重する心の育成
 - ②あいさつを大切に
 - ③児童の自己有用感と自尊感情を高める、いじめのない学校づくり
- ◆開かれた学校づくりと信頼される学校づくりの推進
 - ①豊かな自然環境を活用した教育活動の推進、積極的な情報発信 (学校公開や行事の公開、校内掲示板・学校ホームページ・学校だより・学年通信・学級通信等)での発信
 - ②学校評価の効果的な活用
 - ③できる限り地域・保護者とふれあう機会を設けることによる信頼関係の構築
 - ④学校運営協議会との連携、コミュニティ・スクールとしての発展
- ◆幼・保・小・中の連携の推進と教育環境の整備、教育予算の効率的な執行
 - ①地域の幼稚園・保育園・小学校・中学校・学童保育所等との連携
 - ②掲示物・表示・花・絵・音楽等での豊かな環境づくり、清掃活動や校内巡視の徹底
 - ③予算の適正な執行、備品・消耗品の適切な管理と丁寧な扱い、節電、ゴミ減量、ペーパーレス
- ◆教職員の働き方改革の推進と明るく活気に満ちた職場環境の醸成、保護者・地域との連携
 - ①教職員が誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境の整備
 - ②効果的な OJT の推進、高学年を中心とした教科担任制の導入
 - ③研修等を通して教職員の専門性の向上、保護者・地域と連携した学習内容の確実な定着
 - ④保護者や地域、近隣大学等との効果的な連携、学びを支える教育資源の活用

地球環境を生かした教育活動 SDGs を踏まえた ESD の推進

大栗川やなな山など、地域の自然、文化、伝統、人材などを積極的に活用して、地域に根ざし地域と連携した教育を推進します。また、ユネスコスクール登録校として SDGs を踏まえた ESD を推進し、再生可能エネルギーを中心とした環境教育や人権教育の充実を図ります。学習の成果を発信することに重点を置き、問題解決能力を育むとともに、生命尊重の精神と豊かな心を育てます。



特別支援教育の充実

児童一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、学習や生活学習上の困難を改善・克服するため、必要な指導を行っています。また、特別支援学級「にし組」及び特別支援教室「おおぞら」と通常の学級との児童及び教員の交流・連携を一層進め、個に応じた指導の充実を図っていきます。



異学年交流・縦割り班活動

年間を通して、縦割り班活動や遊び、学校探検、地域探検、昔遊び等において異学年交流を行います。安全に配慮し、子供たちの主体性を大切に活動を実践していきます。豊かな人との関わりを通して、責任感を育て、協力することや我慢すること、信頼すること等の社会性を育みます。

